

# 令和6年度 年間授業計画

田無工科高等学校

教科・科目	国語科・言語文化		単位数	3
対象学年・組	1学年全クラス	教科担任	MA:高尾 MB:高尾 AA:高尾 AB:高尾 CA:高尾	
教科書	高等学校 新編言語文化			
副教材	カラー版新国語便覧・常用漢字ダブルクリア五訂版			

教科 国語 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】内容や文章の構成を的確に捉えさせる。ものの見方、感じ方、考え方を捉えて解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】文章に表れる表現技法や心情表現から内容を理解させ、課題に取り	『島の少年一船』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	10
	B 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】作者に特徴的な表現や心情描写を見つけて、心情の変化を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経験と重ね合わせながら、作品のモノの見方や考え方を捉えて、内容を解釈させる。	『よるこびの歌』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】叙述された状況や心情を捉え、学習課題に沿って、内容や展開を捉えようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○	○	1
	C 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】内容や文章の構成を的確に捉えさせる。ものの見方、感じ方、考え方を捉えて解釈させる。作品の成立背景や作者の文章的特徴を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】文章に表れる表現技法や心情表現から内容を理解させ、課題に取り組ませる。	『羅生門』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	○	○	○	9
D 単元 【知識及び技能】文語の決まりを理解させ、文字の変化に気づかせる。 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方や考え方を捉えさせる。古文特有の仮名遣いや表現に触れさせる。 【学びに向かう力、人間性等】歴史的仮名遣いに注意して本文を読み、内容を解釈させる。	「古文を読むために1」『鳩と蟻のこと』『児のそら寝』	【知識・技能】言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れている。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。	○	○	○	9	
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	E 単元 【知識及び技能】古典の言葉と現代の言葉のつながりに気づかせ、日常に溢れる言葉への由来を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】作者のものの見方や考え方を捉えさせる。随筆の特徴や効果について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】作品の歴史的・文化的背景を踏まえて、内容を解釈させる。	「古文を読むために2」『徒然草』『仁和寺にある法師』	【知識・技能】言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】本文中に表れた作者の教訓を積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	○	○	○	9				
	F 単元 【知識及び技能】我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】短歌を読んで感じたことや考えたことを、記述させる。	『大切の言葉』	【知識・技能】言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 【思考・判断・表現】我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近現代を代表する歌人の作品を味わっている。 【主体的に学習に取り組む態度】作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。	○	○	○	9				
	定期考査							○	○	○	1
	G 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】語り手の考えを文脈に沿って考えさせる。背景にある社旗的な文脈を理解させる。主人公の心情の変化を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の意見を発表し、教材への理解を深めさせる。	『鏡』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解いている。 【主体的に学習に取り組む態度】恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。	○	○	○	9				
H 単元 【知識及び技能】返り点や助字のきまりを確認し、漢文を正確に読ませる。 【思考力、判断力、表現力等】日常で使用している言葉や慣れ親しんだ文化と漢文に表れる言葉や文化とのつながりを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉のつながりに気づかせ、内容を適切に解釈させる。	「訓読に親しむ」「漢文を読むために」『矛盾』	【知識・技能】言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	9					
定期考査							○	○	○	1	
3 学 期	I 単元 【知識及び技能】返り点や助字のきまりや、漢詩の特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】表現技法に留意して内容を解釈し、作者や当時の人の考え方や感じ方を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】漢詩を適切に解釈し、言葉のつながりを理解させる。	『狐虎借威』『静夜思』『春望』	【知識・技能】古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】表現技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々がどのような思いを詩に表したかを読み取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	○	○	○	10				
	J 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】生活や文化の違いに着目させ、それらの影響を考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】自分とは異なる生活環境を知り、紛争や差別などの問題を調べ、発表させる。	『わたしはマララ』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】不合理な暴力と闘う女性の体験と信念を知り、日本以外の世界の出来事にも興味・関心を持つ態度を養っている。 【主体的に学習に取り組む態度】結びの文章に表れた筆者の信念を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に話し合おうとしている。	○	○	○	9				
	K 単元 【知識及び技能】常用漢字を文や文章の中で活用させる。語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】内容や文章の構成を的確に捉えさせる。ものの見方、感じ方、考え方を捉えて解釈させる。作品の成立背景や作者の文章的な特徴を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の意見を考えたうえで、他者と比較させ、解釈の幅を広げさせる。	『よだかの星』	【知識・技能】本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考・判断・表現】作品に含まれる寓意を理解し、主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】冒頭の一文が果たす役割を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に発表しようとしている。	○	○	○	9				
	定期考査							○	○	○	105
										合計	